

事務事業実績測定調書

事務事業名称	交通安全施設整備事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち												
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、交通安全対策特別交付金等に関する政令				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歩行者、車両等問わず、該当道路を通行される方			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通事故が発生する			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。				
事業概要	<p>地元の要望等により、地域の交通環境の実態を調査し、地元の意向を踏まえて適切な交通安全対策を立案する。 立案した交通安全対策に基づき、道路柵などの交通安全施設の新設を行うとともに道路反射鏡や区画線の新設、更新を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。				立案した交通安全対策に基づき、交通安全施設の新設及び区画線の新設、更新を実施。				地元の要望等に応じて、実態の調査及び適切な交通安全対策を立案する。			
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数				立案した交通安全対策に対する整備完了率 【算出式:整備完了件数/立案件数×100】				交通安全対策の立案件数			
		単位		件		単位		%		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	1,150	1,100	1,050	1,000	80	80	80	80	500	500	500
	実績	1,080	1,088	1,173	1,213	73	75	71	82	403	311	239	214
	達成度	79%				103%				43%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.77
再任用	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,222	10,842	7,238		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,222	0	7,238		
物件費計	54,155	47,153	40,817	57,000	71.6%	
歳出計	70,377	57,995	48,055			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	52,392	48,645	40,817	48,136	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	52,392	48,645	40,817	48,136	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,763	0	0	8,864		

5. 総括的分析

総括的分析	全ての要望に対し、早急に調査を実施し、市の基準等を基に検討を行い、要望の可否または代替案の提案を要望者に行い、速やかな交通安全対策を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、可能な限り、交通安全対策の早急な整備を行う。

事務事業名称	めいわく駐車防止事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H7)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市めいわく駐車防止に関する条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の道路を通行する歩行者及び自転車利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	迷惑駐車により通行が妨げられている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。				
事業概要	枚方市駅周辺の「重点地域」において交通指導員2人を配置し、めいわく駐車をしようとする者に指導・助言及び啓発を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。				めいわく駐車をしようとする者及び現にしている者に対し、指導・助言及び啓発を行う。				枚方市駅周辺を対象に、交通指導員による、めいわく駐車防止活動を実施する。			
指標設定	指標説明	悪質・長時間駐車台数				指導・助言及び啓発件数				めいわく駐車防止活動延べ日数			
		単位		台	単位		件	単位		日			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	4,800	3,500	3,400	3,300	137	137	137	137
実績	1	1	0	0	6,958	5,451	4,889	4,503	120	93	96	95	
達成度	100%				64%				131%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,200	2,656	1,718		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,233	2,656	1,718		
物件費計	8,015	8,345	8,110	8,119	99.9%	
歳出計	10,215	11,001	9,828			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	8,015	8,345	8,110	8,119		

5. 総括的分析

総括的分析	めいわく駐車への指導巡回により、駐車台数は減少してきており、悪質な長時間駐車はなかった。引き続き、枚方市駅周辺のめいわく駐車防止に努める。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、効率的・効果的なめいわく駐車防止活動を実施し、スムーズな道路通行に寄与する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	岡東町自動車駐車場施設維持管理事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1994(H6)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自動車駐車場条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の店舗等の利用者、枚方市駅から公共交通機関に乗り換えの利用者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市駅周辺には、駐車場をもたない店舗や医院等が多く、これらの店舗等を利用する際に駐車する場所がない。また、店舗等の前に駐車すると迷惑駐車になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市駅周辺において駐車でき、枚方市駅周辺の迷惑駐車がなくなる。				
事業概要	岡東町自動車駐車場(収容台数 自動車 241台(定期160台・一時81台)・自動二輪車 64台(定期49台・一時15台) 立体自走式6層(地下1階、地上4階)鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積2,100.21㎡、建築面積1,578.91㎡、延床面積7,387.74㎡の施設の運営と維持管理。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						岡東町自動車駐車場の適切な維持管理により、めいわく駐車がなくなり、周辺の交通が円滑に流れている。				岡東町自動車駐車場の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検の実施回数				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
	達成度					97%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.73
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,428	4,140	5,763		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,428	4,140	5,763		
物件費計	193,851	155,787	111,137	163,000	68.2%	
歳出計	203,279	159,927	116,900			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	82,480	91,768	97,153	97,990	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,889	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	84,369	91,768	97,153	97,990	
一般財源（物件費に充当されるもの）	109,482	64,019	13,984	65,010		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスが第5類に移行したことに伴い、市民の外出機会が増えたことや、前年度より導入しております事前精算機やキャッシュレス化などにより、利用者の利便性の向上が図られたことが、使用料の増収につながったものと思われる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も安定した施設運営を図るために、指定管理者が予定している利用者の利便性向上に繋がる提案事業について、確実に履行していただくよう指導・監督を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	開発交通関係協議・指導事務												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開発地域の周辺に居住する市民			
	サブターゲット	開発行為等を行う予定の事業者			
	ターゲットが抱える課題	開発による交通の流れの変化に伴う事故の発生やめいわく駐車が増加がある。			
	ターゲットが抱える課題	工事車両による事故が発生する。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な開発指導により、工事車両による事故や開発による交通環境の変化による事故やめいわく駐車が発生せずに住民が安心して暮らしている。				
事業概要	開発行為等の申請に対して、交通安全施設・自動車駐車場・自転車置場等の設置及び工事期間中の工事車両等の安全対策について協議・指導を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						各申請に対し、適切に協議・指導を実施する。				開発行為等の申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明					申請に対する協議・指導率 【算出式: 協議・指導件数 / 申請受付件数 × 100】				開発行為等の申請件数			
	指標種類					単位	%			単位	件		
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度					100	100	100	100	300	300	300	300
						100	100	100	100	246	347	189	125
										42%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,262	7,318	6,711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,262	7,318	6,711		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	6,262	7,318	6,711			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	全ての申請に対し、遅滞なく審査を行い、協議・指導を行った。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請に対し、遅滞なく協議・指導を行う。

事務事業名称	交通安全啓発事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち												
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路を通行する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通ルールやマナーの遵守について学ぶ機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題	信号のない横断歩道において、横断者がいるのに一時停止しない車が多い。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民等が交通ルールやマナーへの理解を深めて遵守し、交通の秩序維持することが交通事故の防止につながることを認識することにより、交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている状態。				
事業概要	<p>交通事故を1件でも減らすように、以下交通安全啓発活動等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春、秋の全国交通安全運動(啓発パレード、駅前キャンペーン、自転車マナーアップキャンペーン) ・交通安全市民大会(市民) ・子どもの交通安全教室(保育所・幼稚園・小学校) ・交通安全運転講習会(市民) ・高齢者自転車教室 ・公民連携による広報活動。特に、「信号のない交差点での横断歩道における交通ルールの周知徹底」 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民等が交通ルールやマナーへの理解を深めて遵守し、交通の秩序を維持することが交通事故の防止につながることを認識することにより、交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている。				市民が、交通安全に関して触れる機会が増える。				交通安全啓発活動等を実施する。			
指標設定	指標説明	市内の交通事故発生件数				交通安全教室参加人数				交通安全教室開催数			
		単位		件	単位		人	単位		回			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,150	1,100	1,050	1,000	21,000	21,500	22,000	22,500	180	190	200	210
実績	1,080	1,088	1,173	1,213	0	6,524	6,509	6,379	0	66	88	88	
達成度	79%				28%				42%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,150	12,109	9,692		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,150	12,109	9,692		
	物件費計	5,146	6,769	7,242	6,883	105.2%
	歳出計	12,296	18,878	16,934		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	361	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	361	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,146	6,408	7,242	6,883	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことから、小学校（歩行・自転車）の交通安全教室や、春と秋の全国交通安全運動では啓発パレードや交通死亡事故被害者慰霊献花式を実施するなど、交通啓発活動を実施することができた。</p> <p>また、保育所（園）や幼稚園への交通安全啓発のDVDや紙芝居の貸し出しや、企業からの寄付を基に、高校生が作成した交通安全啓発のラッピングバスを市内で運行するなど、交通ルールやマナーの周知に努めた。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、効果的な交通安全啓発活動を実施していく。

事務事業名称	放置自転車等管理事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人			
	サブターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の所有者			
	ターゲットが抱える課題	鉄道駅周辺に放置自転車等があり、通行者の妨げとなっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	放置自転車等を移送し保管場所において保管することにより、鉄道駅周辺をスムーズに通行することができている。また、保管自転車についても所有者への返還までの間適切に管理できている。				
事業概要	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管及び返還を行う。また、引取りのない自転車はリサイクルや売却処分を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						保管している放置自転車等について、適切に返還を実施し、引取りのない場合はリサイクルや売却処分を実施する。				鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管を行う。			
指標設定	指標説明					放置自転車等返還台数				放置自転車等の保管台数			
	指標種類					単位 台				単位 台			
	指標数値					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					1,100	1,050	1,000	950	1,900	1,800	1,700	1,600
達成度						163%				157%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	2,734	2,049		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,929	2,734	2,049		
	物件費計	9,021	10,014	8,914	9,101	97.9%
	歳出計	12,950	12,748	10,963		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	686	1,098	642	1,100	
	市債	0	0	0	0	
	その他	199	109	94	55	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	885	1,207	736	1,155	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	8,136	8,807	8,178	7,946	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い外出者が増えたが、保管台数及び返還台数とも令和4年度は一時的に増加したものの、昨年度は減少傾向に転じており、これまで地道に実施してきた放置自転車の撤去・移送作業が市民に浸透したきたものと思われる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、放置自転車等の適正な保管及び返却手続きを行い、引き取りの無い車両については売却手続きを行うなど、効率的な管理運営を図っていく。

事務事業名称	放置自転車対策事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進および自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	放置自転車により円滑な通行が妨げられることにより、交通安全の確保、災害救援の通行機能に支障が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。				
事業概要	鉄道駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車、原動機付自転車(50cc以下)の指導・警告・移送業務を行う。(13駅:樟葉駅、牧野駅、御殿山駅、枚方市駅、枚方公園駅、光善寺駅、香里園駅、宮之阪駅、星ヶ丘駅、村野駅、長尾駅、藤阪駅、津田駅周辺)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。				アウトプット (活動結果)	放置禁止区域内での放置自転車等に対し、適切に指導・警告・移送を実施する。				インプット (活動)	自転車等放置禁止区域を対象に、放置自転車・原動機付自転車の対策事業を実施する。			
	指標説明	放置禁止区域内からの移送台数				放置禁止区域内で放置自転車等の指導・警告を行った台数				対策事業の延べ実施日数(枚方市内の鉄道駅13駅周辺にて各々実施した日数の合計)					
指標設定	単位	台				単位	台				単位	日			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		実績	1,900	1,800	1,700	1,600	12,000	11,900	11,800	11,700	1,600	1,600	1,600	1,600	
達成度	163%				117%				167%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.12
再任用	0.12
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,557	1,484	1,552		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,557	1,484	1,552		
物件費計	29,219	30,157	17,386	17,835	97.5%	
歳出計	33,776	31,641	18,938			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	29,219	30,157	17,386	17,835		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い外出者が増えたが、保管台数及び返還台数とも令和4年度は一時的に増加したものの、昨年度は減少傾向に転じており、これまで地道に実施してきた放置自転車の撤去・移送作業が市民に浸透したきたものと思われる。</p> <p>また、放置自転車等の指導・警告台数についても、対策事業の延べ実施日数を半減させたにもかかわらず増加しており、短時間の路上駐車が多いものと思われる。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、継続的に指導や移送業務を実施し、道路などの公共空間の安全な通行の確保に努める。

事務事業名称	有料自転車駐車場施設維持管理事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市自転車駐車場条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅まで自転車を利用する人、鉄道駅13駅周辺の店舗などを自転車で利用する人			
	サブターゲット	駐輪場を持たない鉄道駅13駅周辺の店舗など			
	ターゲットが抱える課題	自転車駐車場の確保 (老朽化などに伴う突発的な補修が発生し、自転車駐車場の利用ができなくなる)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の安定した管理運営を行うことで放置自転車等がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。 自転車駐車場の計画的な維持補修がなされ、利用者が安全・安心に施設を利用することができる。 				
事業概要	<p>鉄道駅13駅の周辺にある20箇所の有料自転車駐車場の運営を指定管理者により行う。 【拡充】 有料自転車駐車場については、建設から約30年が経過していることから老朽化が進んでおり、現状では計画的な改修計画がなく、設備が破損するたびに修繕を行う事後対応を行っており、その結果一時的に利用ができなくなり利用者サービスの低下につながる。 このことから、利用者の利便性向上及び安全・安心な施設利用を図るため、自転車駐車場(建築物5箇所)の保全計画を策定し、計画的に施設の改修を行う。 なお、保全計画は、現在の「枚方市市有建築物保全計画」の次期改定時に統合する方向で庁内協議を進める。</p> <p>1. 施設保全計画調査業務(有料自転車駐車場) 有料自転車駐車場及び自転車保管所のうち、建造物(複層式の駐車場)のある5施設(枚方市駅東・枚方市駅西・枚方公園・光善寺・香里園)の調査業務委託を実施し、令和5年度より計画的に予防保全型の修繕を実施し、適切な施設の維持管理を実施する。 ・施設保全計画調査業務委託(R4年度) (施設調査・施設健全度判断・施設改修計画) ・有料自転車駐車場施設改修工事実施(R5年度以降)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		有料自転車駐車場施設の適切な維持管理により、放置自転車がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。				有料自転車駐車場施設の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	指標説明	各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検の実施予定回数				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
達成度	101%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,736	12,109	10,264		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,736	12,109	10,264		
物件費計	320,591	314,483	326,712	328,300	99.5%	
歳出計	326,327	326,592	336,976			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	250,500	273,599	273,811	298,825	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	250,500	273,599	273,811	298,825	
一般財源（物件費に充当されるもの）	70,091	40,884	52,901	29,475		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症の第5類への移行に伴い、使用料収入は前年度より増加はしているものの、コロナ禍以前の水準に戻ることは困難と思われる。</p> <p>また、今年度より新たな指定管理者による管理運営が開始され、一時利用への機械式導入や24時間化など新たな利用者サービスの開始により、利用者の利便性向上が図られたことなども使用料収入の向上につながったものと考えられる。</p> <p>なお、決算額が当初予算額を上回った原因は、調停成立に伴う損害賠償金を支払うため補正予算を計上したことによるものである。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新たな指定管理者による、利用者の利便性向上に向けた新たな提案を計画的に実施し、自転車駐車場の安定した管理運営を継続できるよう、指導・監督に努める。

事務事業名称	公共交通環境整備事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち												
	実行計画名	5-1.公共交通環境の整備												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共交通を利用される方			
	サブターゲット	公共交通事業者			
	ターゲットが抱える課題	道路によっては円滑なバスの走行に適していない場合がある。			
	ターゲットが抱える課題	公共交通の現行サービス水準の維持			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	持続可能な公共交通の実現				
事業概要	<p>円滑なバス走行に適応すべくバス停での離発着しやすい道路環境を整える。</p> <p>【拡充】 公共交通環境の整備。 災害並みの猛暑から市民の安全安心を守り、熱中症の発症リスクの軽減を図るため、市内複数のバス停において、都市緑化を活用した猛暑対策を行う。 保水性舗装の整備及び街路樹の植樹。 大阪府「都市緑化を活用した猛暑対策事業」を活用して実施。(10/10補助)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	公共交通の確保・維持・改善				アウトプット (活動結果)	各種要望に対し、適切に処理する。				インプット (活動)	公共交通事業者等から改良要望等受付			
	指標説明	バスの走行環境に対する市民・バス事業者等の満足度				各種要望に対する対応率				改良要望等の受付件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	%			単位	%			単位	件				
		目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	実績	80	-	60	80	100	-	75	100	2	0	4	10		
達成度	100%				100%				125%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.22
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	2,187	1,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	2,187	1,737		
	物件費計	28,720	96,198	130,342	174,490	74.7%
	歳出計	30,291	98,385	132,079		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	21,287	78,436	124,000	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	19,864	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	21,287	78,436	143,864	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	28,720	74,911	51,906	30,626	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和5年度は、夏場にバス停等で待たれている利用者の暑熱対策として、大阪府の補助金を活用し、バス停改修の設計委託を2か所、改修工事を8箇所行った。 また、バス事業者からの要望に基づき、バス停の改修を2か所実施した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、交通事業者と協議を行い、公共交通の環境整備に必要な改修を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公共交通利用促進(モビリティ・マネジメント)事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名	5-1.公共交通環境の整備									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市・地域総合交通戦略要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全世代の市民、来訪者			
	サブターゲット	市内で営業している公共交通事業者、企業など			
	ターゲットが抱える課題	公共交通利用者の減少による、公共交通網の減便や廃止などが利用者の利便性に影響を及ぼす。			
	ターゲットが抱える課題	公共交通の利用者の減少は交通事業者の収益を減らすなど、経営に影響を及ぼすため、運転手不足などの慢性的な課題解消が難しくなり、更なる減便や廃止が進むだけでなく、その他のサービス低下も懸念される。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	みんなで交通について考え、支えていくことで、将来も公共交通網が維持され、外出しやすい環境が整った状態。				
事業概要	過度に自家用車に依存することなく、多様な交通手段を選択することができるように、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通の利用を促進し、持続可能な交通機能を確保する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		イベント参加後に、参加者の公共交通を利用する回数が増える。				公共交通利用促進イベントの実施に市民等が参加する				ひらかた交通タウンマップの更新及び広く市民へPRする			
指標設定	指標説明	アンケート調査による電車やバスに乗る回数が増えた人の割合 【算出式:アンケート調査にて「電車やバスに乗る回数が増えた」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				公共交通利用促進イベントの参加者数				ひらかた交通タウンマップを使った公共交通利用促進イベントの実施回数			
		単位		%		単位		人/年		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	40	40	40	40	600	600	600	600	2	2	2	2
	実績	0	29.40	25	21	96	417	390	500	1	1	1	2
	達成度	53%				83%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,321	3,359	2,684		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,321	3,359	2,684		
	物件費計	1,185	1,185	1,367	1,730	79.0%
	歳出計	5,506	4,544	4,051		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,185	1,185	1,367	1,730	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、NPO団体や京阪バスとの共催による「バス乗ってスタンプラリー」や、担い手育成を目的にしたバスバックヤードツアーを開催し、子どもとその保護者に楽しみながらバスの重要性を知ってもらうツアーを実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、継続して公共交通の利用促進に向けたイベント、啓発に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 338

事務事業名称	交通対策協議会補助事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち												
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1967(S42)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称	枚方市交通対策協議会補助金		サンセット	2023(R5)年度	～	2024(R6)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市交通対策協議会				
	サブターゲット	公共の場を通行する市民				
	ターゲットが抱える課題	交通対策協議会は、法令により設置を各市町村に設置が促されている。				
	ターゲットが抱える課題	交通対策協議会の活動には経済的な負担がある。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。					
事業概要	<p>校区コミュニティ、地元自治会、地域団体と連携し各種交通安全啓発を行う。</p> <p>1. 春・秋の全国交通安全運動 2. 交通安全大会…枚方市交通安全市民大会 3. 交通安全立看板の設置等</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																														
ロジックモデル		交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。	交通対策協議会の活動活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。	交通対策協議会の啓発活動に対し、補助金にて支援する。																														
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数	交通対策協議会が実施している啓発事業に対する参加者数	交通対策協議会が実施している交通安全対策の啓発事業件数																														
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																														
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,000</td> </tr> </table>	単位	件	R2	1,150	R3	1,100	R4	1,050	R5	1,000	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>10,479</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10,700</td> </tr> </table>	単位	人	R2	12,000	R3	12,000	R4	10,479	R5	10,700	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9</td> </tr> </table>	単位	件	R2	9	R3	9	R4	9	R5	9
	単位	件																																
R2	1,150																																	
R3	1,100																																	
R4	1,050																																	
R5	1,000																																	
単位	人																																	
R2	12,000																																	
R3	12,000																																	
R4	10,479																																	
R5	10,700																																	
単位	件																																	
R2	9																																	
R3	9																																	
R4	9																																	
R5	9																																	
達成度	79%		89%		78%																													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,200	1,172	2,369		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,200	1,172	2,369		
物件費計	9,203	9,784	10,013	10,056	99.6%	
歳出計	11,403	10,956	12,382			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	9,203	9,784	10,013	10,056		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い、春と秋の全国交通安全運動のパレードや、小学生の登下校時の立番指導を実施し、登下校時に注意する交通安全マナーやモラルの啓発を実施した。</p> <p>また、交通啓発の質を維持するため、交通対策協議会校区支部を通じて、交通安全啓発チラシを配布する等、ルールやモラル教育の徹底を図った。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	<p>交通対策協議会の事業は今後も継続するが、プロパー職員が今年度で退職すのを機に、現在の補助金を令和6年度で廃止し、令和7年度からは直営による新たな運営方法を行う予定であることから、必要な予算や人員の拡充などについて調査検討を行い、今後も地域に根差した交通安全啓発活動を継続して実施する。</p>

事務事業名称	枚方交野交通安全協会補助事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	不明		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方交野交通安全協会補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方交野交通安全協会					
	サブターゲット	公共の場を通行する市民					
	ターゲットが抱える課題	枚方交野交通安全協会が実施する交通安全指導を含めた交通安全の啓発に関する取り組みについては、経済的な負担がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。						
事業概要	枚方警察署・交野警察署と連携し各種交通安全啓発活動(①各種交通安全運動広報啓発活動②各種交通安全教育活動③市民参加による交通安全行事④交通安全功労者等表彰等)を行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。				補助金による、各種活動の活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。				枚方交野交通安全協会の各種交通安全啓発活動に対し、補助金にて支援する。			
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数				各種啓発事業に対する参加者数の合計				枚方交野交通安全協会が実施している交通安全啓発事業件数			
		単位		件		単位		人		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,150	1,100	1,050	1,000	2,800	2,800	2,800	2,800	33	33	33	33
実績	1,080	1,088	1,173	1,213	0	7	291	470	0	1	6	18	
達成度	79%				17%				55%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,121	1,172	1,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,121	1,172	1,974		
物件費計	882	1,161	1,712	2,600	65.8%	
歳出計	3,003	2,333	3,686			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	882	1,161	1,712	2,600		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い、春と秋の全国交通安全運動の啓発パレードを実施するとともに、自転車・バイクの安全点検や交通事故犠牲者慰霊碑の献花式などを実施し、市・交通安全協会・警察と連携し啓発イベントを実施した。</p> <p>また、交通安全協会が年9回発行する広報誌で、交通ルールやマナーの周知啓発を行った。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、効果的な交通安全啓発イベントの方法を検討し、実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 886

事務事業名称	交通対策課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	交通対策課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	交通対策課所管事務の分担			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通対策課所管事務の円滑な執行				
事業概要	交通対策課の予算及び決算に関する事務、物品の契約及び購入に関する事務、文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務、各委託事業、補助金等の支出及び使用料の調定に関する事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
	達成度				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.83
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,678	6,250	6,553		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,678	6,250	6,553		
物件費計	296	446	1,167	1,080	108.1%	
歳出計	6,974	6,696	7,720			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	296	446	1,167	1,080		

5. 総括的分析

総括的分析	職員間での業務の振り分けを、効率的・効果的に実施でき、円滑に事務処理を進めることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、適切な事務処理を維持していく。